

【注意】本コンテンツは、株式会社労働新聞社に許諾を得て転載しています。
本記事の無断複製転載を禁じます。

株式会社日立システムズ（東京都品川区、柴原節男代表取締役社長）は、不妊治療と就労の両立支援に関するセミナーを初めて開いた。開催の背景には、昨春秋に同社労働組合が実施した調査で、不妊治療との両立に悩みを持つ社員の数が多かったことを挙げる。

セミナーはオンライン形式で実施し、130人が受講した。登壇した順天堂大学医学部の遠藤源樹教授は、職場

悩み持つ社員多い

日立システムズ

不妊治療でセミナー

でのマネジメント面での注意事項として、「守秘義務の徹底」や「ハラスメントの防止」を挙げている。さらに、職場内での公平性の確保が最も大切として、「不妊治療中の社員だけでなく、周囲の社員のケアも重要」と訴えた。

同社の担当者は、社内制度の説明とともに、「悩みが生じた際は、気軽に社内の相談窓口を利用してほしい」とアナウンスしている。